

平成24年10月4日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成24年10月4日（木） 正午から13時まで
- ・会場 長野県庁
- ・参加グループ TRAFFIC Sister's
- ・懇談のテーマ『交通安全教育について』

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

（1）交通安全教育について

（ご意見の概要）

- ・交通安全ミュージカルやスケアード・ストレイト(※)などを実施し、参加者の心に響く交通安全教育を実施している。
- ・活動の幅を広げるためにNPO法人化して、有料の交通安全教室を行うなど、今までのノウハウを継続していきたい。
- ・県の交通安全対策の力にもなりたいと思う。

※スケアード・ストレイト

恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法。事故現場を再現してみせ、交通ルールの大切さを学ばせたり、非行少年に刑務所を見学させて更生をうながしたりするなどの手法がある。

（知事の発言）

- ・交通安全対策には一生懸命取り組んでいるが、効果が見えてこない。警察とともに見直せないかと考えている。
- ・心に響くやり方をしなければいけないというのはその通りであり、皆さんの取組が県とも協働できればいいと思う。

（ご意見等に対する対応状況）

- ・平成25年度長野県交通安全運動推進計画のなかで、交通安全教育を担当する警察や関係機関・団体がそれぞれ心に響き・残る交通安全教育を実施していくように見直しをしました。【担当課：生活文化課】

- ・平成24年12月に特定非営利活動法人の設立認証申請があり、所定の手続きを経て平成25年2月に認証しました。【担当課：県民協働・NPO課】

（2）交通事故防止について

（ご意見の概要）

- ・交通事故現場を確認した際、一時停止標識の位置が高く、小学生の目線では見づらいのではないかと感じたものがあるので、標識の位置を見直したり、路面に「止まれ」標示をするなどの対策を、警察や道路管理者にお願いしたい。
- ・道路左側の歩道を歩行していたところ歩道が途切れ、そのまま左側を歩行していて後ろから来た車に跳ねられたケースがあった。交通安全教室でも指導しているが、歩道の整備が進んできたことによる盲点で、歩行者も自転車も交通ルールが分からなくなっている。対策を考えなければいけない。

（知事の発言）

- ・交通事故現場の標識や標示を検証し、必要な対策を行ったらどうか。

（ご意見等に対する対応状況）

・交通死亡事故等の現地診断（現場確認）には県の現地機関からも参加して交通安全施設等の検証を行い、警察・道路管理者などの担当機関により必要な対策が行われています。

・歩行者や自転車に対するルールの周知・徹底については、引き続き広報・啓発に努めてまいります。**【担当課：生活文化課】**

・歩道が途切れている箇所については、歩道から路肩への安全な接続、仮設防護柵の設置等に努めておりますが、歩行者の安全確保のため、引き続き、現地状況に応じた対策を講じてまいります。

・また、関係地権者等の理解・協力をいただきながら、早期に歩道の連続性が図られるよう整備してまいります。**【担当課：道路管理課】**

3 問合せ先

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp